



ファミサポの援助活動は今の私の大きな生きがいです

小坂 規久子さん (鷹尾二丁目) 援助会員歴 1年半

5年前に都城市に転入して、地域とのつながりを持ちたいと考えていたところ、知り合いからこの活動を紹介してもらい、援助会員になりました。

11カ月児から小学6年生まで4人の子どもたちの送迎や預かりを、週6回程度行っています。活動を通して、たくさんの子どもの成長を「すぐそばで」「何度も」見守ることができるのは、本当にうれしくて、自分の幸せの一部にもなっています。内気な子どもへの関わり方に不安を感じたこともありましたが、その子の母親から「小坂さんに話しかけてもらえて、子どもも喜んでいる」と聞かされた時には、とても感激しました。

誰かの役に立ちたいと始めた活動ですが、今では自分が一番元気をもらっていますね。



かわいい盛りを何度も見られるのはファミサポならではの

川野 恵美さん (若葉町) 援助会員歴 6年

周りに知り合いのいない子育て世帯を多く見てきた経験から、援助を必要とする人の手助けをしたいと思い、活動を始めました。

現在、1歳児から小学5年生までの8人をサポートしています。習い事や児童クラブへの送迎中が一番触れ合える時間で、ゲームの話や学校での出来事など、毎回楽しい話を聞かせてくれます。みんな毎週のように会っているので、それぞれに思い出がたくさんあります。これまで、赤ちゃんを預かるサポートも何度かありましたが、この時期の子どもに寄り添えるのは、他ではない経験だと思います。6年間でサポートを終えた子どもも、たまに会うと声をかけたり、手を振ったりしてくれます。これからも、たくさんの子どもたちを見守っていきたいです。



子どもとの触れ合いの時間がうれしくて活動を続けています

柿並 貴子さん (久保原町) 援助会員歴 6年

子どもと関わるのが大好きで、子育て時代のママ友の勧めから、援助会員に登録しました。

小学1年生から6年生までの4人のサポートを、週に6回程度行っています。活動する曜日が決まっているので、ファミサポの予定が自分の生活のリズムにもなっています。子どもたちの成長が何よりの楽しみになっていて、サポートしている私の方が人生のやりがいももらっています。子どもがサポートを卒業する時は寂しい気持ちもありますが、この活動を続けていくことで、ずっと子どもたちと関わるので、子ども好きな人にはお勧めです。子育て世帯のお父さんやお母さんはじめ、おじいちゃんおばあちゃんなど、多くの人と関わることも、ファミサポの魅力です。

都城の子どもたちを見守りたい 私がファミサポで活動している理由

地域で子どもを育てるファミリー・サポート事業は、講習を受けることで、誰にでもできる子育て支援です。都城市ファミリー・サポート・センター(ファミサポ)は、子育ての援助を受けたい人と、子育ての援助ができる人のマッチングや利用の調整を行い、働く子育て世帯の「ちょっとした困りごと」を直接サポートしています。年間6千件を超える利用があるなど、多くの子育て世帯に利用されているファミサポ。この事業は、援助会員の皆さんの活動によって支えられています。

◎問い合わせ 保育課 ☎23-4894

あなたも援助会員になりませんか

空いた時間でできる援助活動は、セカンドキャリアとして、また、子どもたちとの触れ合いを通して、喜びややりがいを感じることができます。援助会員登録を希望する場合は、「援助会員養成講座」を受講ください。

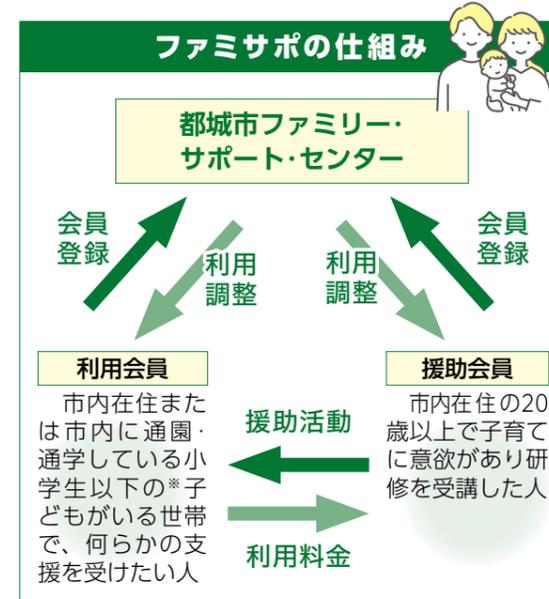
【援助会員養成講座(おおむね4時間×6日)】

- 日程 令和5年1月23日(月)～3月1日(水)の間の6日間 ※要申し込み

●申込 1月16日(月)までに都城市ファミリー・サポート・センター(都城市社会福祉協議会内) ☎26-3810



- 主な援助活動 子どもの一時預かりや自家用車による送迎
- 活動時間 基本的に月～金曜日の7時から19時まで
- 援助会員へのサポート 傷害・責任賠償・自動車団体等保険加入
- 報酬 1時間当たり600円(利用会員300円+市助成300円)
- その他 自家用車による送迎援助に対し、移動区分に応じて燃料費相当額の助成があります。



※障がいがある場合は18歳まで